

2016年4月に発生した熊本地震、2018年7月に起こった西日本豪雨。
それらの現場に派遣された際の活動の記録です。

2016年4月 熊本地震



- 派遣期間
2016年5月11日～
14日(4日間)
- 派遣場所
御船町立御船中学校

避難所の全体像

活動内容

- ・避難所の急病者への対応
- ・避難者の健康観察
- ・個別相談(子育て、今後の不安、役場への不満等)
- ・支援物資倉庫の整理
- ・トイレ掃除の当番表作成

2018年7月 西日本豪雨



- 派遣期間
2018年7月24日～
27日(4日間)
- 派遣場所
倉敷市立園小学校

食事・飲み物配布スペース

活動内容

- ・体育館出入口の管理
- ・体育館・教室の巡視、健康観察
- ・熱中症(4名)・創処置患者(3名)の対応
- ・車中泊者への対応
- ・夜間体調不良者(2名)の救急病院への診察依頼
- ・夜間、救急患者受け入れ病院リスト
(内科・外科・小児科・耳鼻科・眼科)の作成を
倉敷市職員に依頼

自然災害は突然やってくる— 被災地で活動する、 災害支援ナース が伝えたいこと。

あなたは突然起こる自然災害に対して、対応できる準備をしていますか？
被災するとどうなるのか、避難所生活の実際について**災害支援ナース**の
体験から、防災・減災のために私たちが今からできることをお伝えします！



災害支援ナース
市立岸和田市民病院
山上 富子 さん

私が
お伝えします！

大阪府看護協会 災害支援ナースとは・・・

看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるよう、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことです。大阪府看護協会では、被害をうけた地域へ赴き活動する**災害支援ナース**を育成しています。

Episode 1

災害支援ナースを目指した理由

阪神淡路大震災の経験が大きく関わっている

当時、私は看護学生でその日は実習の初日でした。看護学校からの連絡はなく、自分の意思で実習先の病院(堺市)へ行きました。

地震の影響で各鉄道は運休しており看護師が不足していた為、患者さんの搬送や身体を拭く等の準備など、自分ができることを行いました。震源地から離れた場所でも病院は混乱するのだと実感しました。看護師として勤務するようになり、看護協会が主催している災害の研修を受講し、災害の知識を持ち対応できる看護師が必要であると再認識し、災害支援ナースになろうと思いました。



important

急いで準備しなくても大丈夫でしょ？

災害に対する備えをしてください！

まずは3日生き残るため、水や食料を準備し、安全に避難所に避難できるよう非常用袋を準備してください。持病がある人は内服薬や薬手帳のコピーも忘れずに。また倒れそうな家具の固定や、落下物の除去など環境を整えてください。そして災害が起これば自分を守ってください。怪我をしないこと、生命の危機に陥らないことが一番大切です。傷病者が減れば、治療をする人が減ります。そして人を助けることができる人が増えます。災害時は医療者だけでは多くの人を助けることができません。皆様一人一人の協力が必要になります。よろしくお願いします。

なんて油断がとても危険！



大阪府が防災情報を公開しています。
右記のQRコードからご確認ください。



Episode 2

活動の中で大切にしていること

できることは何でもするという覚悟

被災地で活動するにあたり、事前の情報収集と前任者からの申し送り、派遣初日の避難所の状況などから、必要とされていることは何か、4日間ではあることは何かを考えます。また、被災者の気持ちに寄り添うことが重要なため、私たちの行動が押しつけにならないよう、自己満足にならないよう心掛けています。そして、衣食住においては自己完結と「できることは何でもする」覚悟で活動しています。



清掃活動(西日本豪雨)

